

事 業 報 告

事務局長 小林 博 之

第1 昭和47年度報告

1. 概 況

昭和47年度は、創立第1年目であり、協会の基礎作りの時期であり、業務全般にわたり繁忙の年でありました。

2. 募金および賛助会員状況

(1) 募 金

ア. 目 標 額	40,000千円
イ. 承 諾 額	34,850 "
ウ. 残 額	5,150 "

(2) 賛 助 会 員

ア. 前年度より継続	43会員
イ. 新規加入	51 "
ウ. 計	94 "

3. 業 務 部

(1) 一般分析総受託検体数	1,960件
(公共団体)	404 "
(民間)	1,556 "

(2) 大 気 関 係	27件
-------------	-----

(3) 主なる官公庁等委託者

北九州港管理組合	洞海湾底質調査
富士市公害課（静岡県）	工場排出物調査
運輸省第4港湾建設局	鉾津分析
" "	博多港底質調査
" "	宇部港底質調査
" "	大分港底質調査
建設省九州地方建設局	白川、緑川底質調査
" "	他主要河川底質調査
長崎県臨海開発局	長崎港浚渫土調査
福岡県環境整備局	昭和47年度 監視測定調査
大阪市	大阪市排油処理場油水分離装置
佐賀市公害課	米、水田の耕土調査
運輸省第4港湾建設局	しゅんせつ船内における空気中 のガス分析調査
西日本新聞	排ガス中のPb調査

4. 特別調査委員会関係の調査内容

環境庁「公害検診方法に関する調査」
福岡市水産課「博多湾漁場環境調査」

福岡県環境整備局「昭和47年度ばい煙等の影響調査のうち尿中ヒ素およびバナジウム分析」

三井鉱山KK「休鉱山排水に関する調査」

味の素KK「外洋投棄および投棄の安全性に関する調査」

他 10件。

5. 会 計

収 入 総 額	67,997,002円
支 出 総 額	62,413,135円
差 引 額	5,583,867円

(1) 収 入 内 訳 (主なもののみ)

利 子 収 入	698,783円
会 費 収 入	534,000円
寄 付 金 収 入	14,600,000円
事 業 収 入	41,570,670円
諸 収 入	1,074,374円
借 入 金 収 入	7,000,000円
繰 越 金 収 入	533,879円

(2) 支 出 内 訳 (主要なもののみ)

法 人 費 (人件費、設備費等)	39,305,304円
会 議 費	427,145円
事 業 費 (分析物品経費等)	9,180,686円
積 立 金	2,500,000円
債 務 返 済 金	11,000,000円

6. 総 務 関 係

(1) 理 事 会	2回
(2) 常 任 理 事 会	7回
(3) 業務担当常任理事会	6回
(4) 事務局長移動	S47.9.1付

山口前事務局長 募金担当理事に昇格。

現小林事務局長を部外より充当。

第2 昭和48年度報告

1. 概 況

昭和48年度は、(財)日本船舶振興会より約3,000万円の補助金をはじめ、福岡県、北九州市よりそれぞれ500万円、福岡市より300万円の補助金を主軸に、約6,000万円相当の環境分析機器の整

備をおこない、この分野の業務につきましてはほぼ完備された状況に至りました。

一般分析業務件数は、昨年の3.4倍、大気測定業務件数も昨年の3.2倍となり、特別調査業務の分野も騒音調査、生物環境調査、悪臭調査に拡大してまいりました。

2. 募金および賛助会員状況

- (1) 補助金 43,777千円
- (2) 寄付金 14,520 "
- (3) 賛助会費 94会員 2,911 "

3. 業務部

- (1) 一般分析総受託検体数 6,446検体
総項目数 35,915項目
- (2) 大気関係 87件

(3) 主なる官公庁等委託者

運輸省第4港湾建設局

「関門航路水底質土分析」他主要6港湾

長崎県、佐賀県、鹿児島県、福岡県

「水銀等汚染対策全国環境調査」

福岡県

「久留米市合川町クロム無害化工事」

九州地方建設局

「西瀬戸内地域河川水質現況調査」他数件

富士市（静岡県）

「工場排出物分析調査」

八女市（福岡県）

「製紙工場廃液PCB分析調査」

福岡市

「博多湾漁場環境調査」

福岡県

「休廃止鉱山概査に伴う抗廃水およびたい積物分析調査」

福岡市

「廃棄物焼却排ガス測定調査」

「食肉市場ボイラー煤煙測定調査」

運輸省第4港湾建設局

「大分空港水質土質分析調査」

4. 特別調査委員会関係の調査内容

九州農政局「諫早湾淡水湖造成水質予測調査」

丸善石油KK「西関東地域における石油精製工場立地にともなう周防灘海域の環境に及ぼす影響調査」

他 16件

5. 講習会、講演会

- (1) 環境行政実務担当者対象のもの。

「公害紛争処理の実例」

「簡易水質測定実習講習」

(S48.4.5～6)

- (2) 大分県大分市公害関係職員のための講演
「公害防止技術について」(S48.5.26)

(3)

「北九州市支所開設記念講演」(S48.7.4)

- (4) 福岡県、福岡市、北九州市公害関係担当職員及び一般対象

「水質汚染に関する諸問題」

「川崎市における大気汚染の推移と対策」

(S48.7.16)

- (5) 地元学究陣対象(九大)

「化学論理への計算機利用について」

(S48.11.15)

- (6) 一般対象

「火山活動と環境問題」鹿児島大 鎌田政明教授

「PCBの代謝と毒性」九大薬学部 吉村英敏教授

「フェライト製造技術を応用した重金属イオン除去方法」(S49.3.13)

6. 会計

総収入額 155,783,804円

総支出額 148,576,150円

差引額 7,207,654円

- (1) 収入内訳

利子収入 741,252円

会費収入 2,911,278円

寄付金収入 14,520,000円

補助金収入 39,440,000円

事業収入 73,985,090円

諸収入 2,136,273円

借入金収入 5,000,000円

繰越金 3,583,867円

その他収入 13,466,034円

7. 総務関係

- (1) 理事会 2回

- (2) 常任理事会 4回

- (3) 業務担当常任理事会 17回

第3 昭和49年度(中間報告)

1. 概況

本年度は、引き続き日本船舶振興会より、約4,700万円の補助金を得て、福岡市香椎に当協会独自の研究棟を建設中であります。50年5月には新棟で業務執行の予定であります。

また、本年度はいわゆる「環境アセスメント」に関する事業が新規に行なわれ、今後当協会業務の中核の業務となる可能性があります。

2. 業務部

- (1) 主なる委託事務

北九州市

「窒素酸化物排出実態調査（市内主要工場）」

長崎県土地開発公社

「西有家臨海工業用地造成事業による環境影響調査」（アセスメント）

北九州市

「太刀浦埋立計画にともなう影響調査」（アセスメント）

東洋開発KK

「馬立山住宅用地開発事業影響調査」（アセスメント）

福岡県

「大牟田港ヘドロ表層分析調査」

福岡県芦屋町

「町環境調査」

九州地方建設局

「管轄河川水系水質分析調査」

熊本県

「水質底質の重金属」

「水俣湾泥土中のメチル水銀の生成量調査」

九州電力KK

「新小倉発電所地先海域の底質調査」

久留米市

「いおう酸化物測定調査」

運輸省第4港湾局

「北九州港関門航路底質分析調査，他4件」

本協会の組織

(昭50.1.30)

